

臓器別腫瘍マーカー組み合わせ例一覧

対象部位	組み合わせ例	組み合わせの考え方
胃癌	(3項目) CA72-4 or STN + CA19-9 + CEA (2項目) CA72-4 or STN + CA19-9	CEAとCA19-9の組み合わせが一般的ですが、偽陽性の少ないCA72-4やSTNが胃癌の腫瘍マーカーとして注目されています。 ただし、いずれの項目も早期胃癌での陽性率は低く、再発や転移の指標として有用性が認められています。
結腸・直腸癌	(3項目) CA72-4 or STN + CEA + CA19-9 (2項目) CA72-4 or STN + CEA	腫瘍マーカー組み合わせの考え方は胃癌と同様です。
肝細胞癌	(2項目) AFP or AFP-L ₃ % + PIVKA-II	AFPとPIVKA-IIの組み合わせが一般的ですが、AFPが高値を示した場合には、AFPの代わりに肝細胞癌に特異性が高いAFP-L ₃ %を組み合わせるのも有効です。 ※診療報酬点数上の制約有〔注釈1〕
肝内胆管癌	(2項目) CA19-9 + CEA	肝内胆管癌ではAFPやPIVKA-IIの陽性率が低いことから、CA19-9が必須であると考えられます。
膵臓癌	(3項目) CA19-9 + DUPAN-2 + CEA or エラスタゼ1 (2項目) CA19-9 + DUPAN-2	CA19-9を中心に抗原性の異なるDUPAN-2やCEAを組み合わせます。早期癌の診断に重点をおく場合にはエラスタゼ1を選択します。 ※診療報酬点数上の制約有〔注釈2〕
胆嚢・胆管癌	(3項目) CA19-9 + DUPAN-2 + CEA (2項目) CA19-9 + DUPAN-2	腫瘍マーカー組み合わせの考え方は膵臓癌と同様です。 (ただし、エラスタゼ1は除きます。)
肺癌	(3項目) CYFRA + ProGRP + CEA (2項目) CYFRA + ProGRP	肺癌は組織型が多岐であることから、各組織型を考慮して特異性の高い項目を組み合わせます。 ・扁平上皮癌 (CYFRA or SCC) ・腺癌 (CA19-9 or SLX) ・小細胞癌 (ProGRP or NSE)

(参考資料：石井勝 監修、TUMOR MARKER 最近における広義の腫瘍マーカー、株式会社エス・エル・エル、2009 *一部改変)

〔注釈1〕肝細胞癌：AFPとPIVKA-IIは同時算定可能。ただし、AFP-L₃%とAFPまたはPIVKA-IIとの同時算定は不可。

〔注釈2〕膵臓癌：CEAとDUPAN-IIは同時算定不可。

※組み合わせ検査をご依頼の際は、診療報酬点数上の制約の有無をご確認されることをおすすめします。